施策評価(平成29年度)

1 基本項目

基本目標	3	ふれあいと活力のあふれるまち
基本施策	2	地域とともに歩む魅力ある産業の育成
施策	21	観光

基本方針

自然、歴史、文化など観光資源の活用と、一年を通じて羽村の魅力や価値を市内外へ発信する取組みを進め、地域がにぎわう観光の振興を図ります。

2 事後評価結果

計画事業名	進捗状況	妥当性 (必要性)	効率性 (手法)	有効性 (成果)	今後の 方向性
サイクリングステーションの整備	計画どおり完了	Α	Α	Α	現状のまま継続
<u>はむらの水PR事業の充実</u>	計画どおり完了	Α	Α	Α	現状のまま継続
観光協会の組織・機能強化の支援	計画どおり完了	Α	Α	Α	現状のまま継続
花と水のまつり、夏まつり、ふるさと祭り等の拡充	計画どおり完了	Α	Α	Α	現状のまま継続
農商観連携事業の推進	計画どおり完了	Α	Α	Α	現状のまま継続
さまざまな媒体を活用した情報発信・シティプロモーションの強化	計画どおり完了	Α	Α	Α	現状のまま継続
農商観連携施設の整備	計画どおり完了	Α	Α	Α	現状のまま継続
国際化対応の推進	計画どおり完了	Α	Α	Α	現状のまま継続
観光スポット周辺環境の整備	計画どおり完了	Α	Α	Α	現状のまま継続

3 施策評価結果

施策21「観光」では、9事業について評価を実施した。

進捗状況については、すべて「計画どおり完了」であり、滞りなく履行されている。

各事業における妥当性(必要性)、効率性(手法)、有効性(成果)については、すべてA(適切なもの)と評価している。

これらを踏まえた結果、施策21「観光」については、取組内容は順調に推移している。

今後の方向性については、実施計画に掲げた取組みを継続的に推進していくこととし、すべて「現状のまま継続」していくこととする。

	基本シート】									
1.基本項目	丰业 5			部署			集環境 部 大東 第 5 円	/무·깔		産業振興調
	事業名			年度	実施		事業種別	運営		プロジェクト
00 サイクリングステー	·ションの整備 		半成	27 年	継	続	自治事務(市独自)	業務委員	託(一部)	0
01				年						
02				年						
03				年						
04				年			 			
05 関連課				年						
	わちいし江土の	± : 4 7 ± -	+ ++-	一	0.1		年日 ソレ	壬上日	E ₩N.	4
	れあいと活力の	めふれるま	り 肔朿	区分	21		観光	里只有	事業No.	1
2.事業の概要 自然 歴	史、文化などの)観光資源(の活用	ト _. 一名	王を诵	じて羽	対の魅力や	5価値	を市内	外へ発信
	みを進め、地域						11100/2001	, <u>—</u> , —	,., .	70 IL
事多摩川沿いやり						ーゲッ	トに休憩スク	ペース	や情幸	日コーナー
_業 を備えたサイク	リングステーシ	タンの整備	に取り	組みま	す。					
内 容										
根拠法令										
条例										
要綱等										
3.実施計画										
	亚世纪在中	:/TB2D)				3	か年計画			
Plan【計画】 	平成28年度			29年			·成30年度			31年度
	農商観連携施設と 設として基本構想(₹商観連携 函設として乳			農商観: な施設(連携施設と一体 の整備		萄観連携 Bの運用	施設と一体的な
 事業内容	び策定									
事業内容 事業量等			事業を検	討する中	で事業					
1.28= .		美	愛を算出							
4.投入指標(成果の		動するため	に投入	する資	資源【ヒ	ト・モ	ノ・カネ】)	BB 444 3	& n+ 88	•
①年間業務時間(,		》			<u>る人剱</u> 成29年		、当たりの年 平成30 年			<u>】</u> 成31年度
職層∙職種	種別		草時間	人数	概算			F/Q 時間	人数	概算時間
係長職		1人	50 H	1人		00 H		50 H	人	50 ⊦
主事·主任職 ②事業費		1人	25 H	1人		50 H	1人 1	00 H	人	25 ⊦
事業費の内訳(単	位(千円)	平成28年度	(現況)	平	成29年	- 度	平成30年	E度	平」	成31年度
事業費					74			-	. ,	-
人件費(係長職			249			498		747		
人件費(主任·主 総事業費(合計)	L 争 職 <i>)</i>		85 334			170 668		340 1,087		
国庫支出金			004			000		1,007		
都支出金										
受益者負担額	_									
その他特定財派 一般会計繰入。							-			
起債	<u></u>									
一般財源(人件	養含む)		334			668		1,087		
財源内訳(合計) ③コスト計算			334			668	<u> </u>	1,087		
ア市民	56 O79 J.I	こおける1丿	しあたい	のコス	トは			12円		
イ 対象者		こおける1人				┢				
ウ 成果(物)		出来高					のコスト			F
※ 対象者:		_		-				<u> </u>		

		· ·	
平成29年度 【事務事業評価	(事後)】		管理No 115
Do (実行) 5.実施結果			
	画を見直し完了(次年度以降計画	で 日 古 オ)	一中断
	当で兄直し元」(次千度以降計画	16万世97 選座	
①指示事項・改善	指示事項·d	<u></u>	
無 有 機商工観連携	情施設の整備とサイクリングステ-		の整備に係る基本
	とめるとともに、具現化に向けて		
めること。			, 40 H 11 9 0 12 1 1 1 C 1 C
②活動実績			
他自治体の取組み事例や建設経			そ行い、羽中4丁目の
土地開発公社所有の土地を整備	候補地として、整備内容や財源	について検討した。	
③投入実績		7 M 47 (<u> </u>
決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初) 補正・流用額	予算額(最終) 決	算額 執行率
事業費			0 –
年間業務時間(人件費の目安)	当初計画実績		
	人数 概算時間 人数 概算時		
係長職		0 H	
主事・主任職	1人 50 H 1人 50	0 H	
④事業量(活動量) 実施計画			書
		7 千尺大师	只
〇農商観連携施設と一体的な施	設として実施 ⇒ ○サイク	クリングステーション整	備計画の検討
計画の策定		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	MIN 11 17 12 13 13 13 13 13 13 13 13 13 13 13 13 13
6.事業の評価 S…より適切 項目 妥 ω	を達成する為に必要な事業である である	民間活力を活用している 計画以上の事業量を達成した	課長評価 A A A A
Action(改善) 8.今後の方向性 レ 現状のまま継続 【改善点】	アップ 縮小 実施主・	体の見直し 🔲休止・	廃止 完完
【今後の取組方針】		の財源についてもやき	計 中田州のもり
引き続き効果的な事業となるよう 整備計画を策定する。	快討を里ねる⊂ども−、補助金寺	・の対源についても快ま	うし、夫切性のある

ボサックケウ 【1	± 							
平成29年度 【表 1.基本項目	基本シート】		化 d	部署	产	業環境 部	<u> </u>	水道業務課
1.	事業名			叩 有 年度		下垛块 叫 ┃ ┃事業種別	<u></u>	プロジェクト
 00 はむらの水PR事第				28 年		自治事務(市独自)		0
01				年				
02				年		-		
03				年				
04				年				
05				年				
関連課 産業	振興課、環境 係	全課	<u> </u>			l	I.	
基本目標 3 ふ	れあいと活力の	あふれる	まち 施策	区分	21	観光	重点事業No.	2
2.事業の概要			•					
	史、文化など <i>0</i> みを進め、地 ^は						・価値を市内	外へ発信
事 都民の水の源 業 全・安心な上水内を行うなど、「は	ば事業や低廉	で良質な	工業用水	(道事	業を展開する			
根拠法令								
条例								
要綱等								
3.実施計画								
	 平成28年度	··(現況)				3か年計画		
3.実施計画 Plan【計画】	平成28年度			29年	· 支	3か年計画 P成30年度		31年度
	平成28年度 リーフレット「水だよ し、水道使用者に 配付実施	にり」を作成	平成同左	,29年 <u>/</u>			平成同左	31年度
Plan【計画】	リーフレット「水だ」し、水道使用者に「	いり」を作成 向けて全戸 がにリーフ		[29年 <u>]</u>	· 支			31年度
	リーフレット「水だよし、水道使用者に「配付実施 市内不動産事業者 レット「水だより」の	にり」を作成 向けて全戸 がにリーフ 窓口配付を で水の飲み比	同左	べ「きき;	要 同左 同左 NJ体験 同左		同左	31年度
Plan【計画】 事業内容	リーフレット「水だよし、水道使用者に下配付実施 市内不動産事業者 レット「水だより」の 依頼 イベント等において	にり」を作成 向けて全戸 対にリーフ 窓口配付を で水の飲み比 実施	同左 同左 水の飲み比 事業は、各 実施していく	べ「きき:	使 同左 同左 同左 において 同左 水」体験 こまの制 水の保	平成30年度	同左	31年度
Plan【計画】 事業内容	リーフレット「水だよし、水道使用者に「配付実施 市内不動産事業者レット「水だより」の 依頼 イベント等において べ「きき水」の体験 水の保全に関する 準備	はリンを作成 向けて全戸 にリーフ 窓口配付を で水の飲み比 実施 宣言の制定	同左 同左 水の飲み比 事業は、各々 実施していく 水の保全に	べ「きき: イベント! 、 、 関する宣	支 同左 同左 同左 またいて ご言の制 水の保基づく!	平成30年度 全に関する宣言 事業の推進	同左	31年度
Plan【計画】 事業内容 事業量等	リーフレット「水だよし、水道使用者に「配付実施 市内不動産事業者レット「水だより」の 依頼 イベント等において べ「きき水」の体験 水の保全に関する 準備	いりを作成 向けて全戸 信にリーフ 窓口配付を 「水の飲み比 実施 宣言の制定 動するた	同左 同左 水事実施している。 水定 かに、ないない。 水で 水で かの保全に かの保全に かの保全に かのは、ないる。 ない。 ない。 ない。 ない。 ない。 ない。 ない。 ない	べ「きき イベント! 関する宣 する資	き	全に関する宣言 事業の推進 ノ・カネ】) 、当たりの年	同左 同左 同左 間差 新時間	1
Plan(計画) 事業内容 事業量等 4.投入指標(成果)	リーフレット「水だよし、水道使用者に「配付実施 市内不動産事業者レット「水だより」の依頼 イベント等においてべ「きき水」の体験 水の保全に関する準備 の達成、及び活人件費の目安	はいまた成 向けて全戸 がにリーフ での飲み比 を ででである。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	同左 同左 水の飲みようでは、 水変は、 水の保 水の保 水の保 水の保 水の保 水のに、 がのに、 がし。 がのに、 がのに	べ「きき イベント! 関する宣 する資	き	全に関する宣言 事業の推進 ノ・カネ】) 、当たりの年 平成30年	同左 同左 同左 間差 新時間	】 成31年度
Plan(計画) 事業内容 事業量等 4.投入指標(成果) ①年間業務時間(職層・職	リーフレット「水だよし、水道使用者に「配付実施 市内不動産事業者レット「水だより」の依頼 イベント等においてべ「きき水」の体験 水の保全に関する準備 の達成、及び活人件費の目安	はいまた成 向けて全戸 がにリーフ での飲み比 を ででである。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	同左 同左 水事実施して 水事業施して に 致・みといる ・ なで を ・ と で り、 で り、 で り、 で り、 で り、 で り、 で り、 で	べ「ききさんべん」	き 「	全に関する宣言 事業の推進 ノ・カネ】) 、当たりの年 平成30年 人数 概算 1 人	同左 同左 同左 同左 同左 同左 日業務時間 下度 人数 30 H 1 人	】 成31年度 概算時間 30 H
Plan(計画) 事業内容 事業量等 4.投入指標(成果) ①年間業務時間(職層・職 係長職 主事・主任職	リーフレット「水だよし、水道使用者に「配付実施 市内不動産事業者レット「水だより」の依頼 イベント等においてべ「きき水」の体験 水の保全に関する準備 の達成、及び活人件費の目安	はいま作成 向けて全戸 信にリーフ 窓口配付を 水の飲み比 宣言の制定 平成28年 人数 概	同左 同左 水事実施の の飲みみと 水業施して に 執いる ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	べ「ききさんべん」	き	全に関する宣言 事業の推進 ノ・カネ】) 、当たりの年 平成30年 人数 概算 1 人	同左 同左 同左 同左 時度 下度 下度 一次 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	】 成31年度 概算時間
Plan(計画) 事業内容事業量等 4.投入指標(成果の) 1年間業務時間(職層・職 孫長職 主事・主任職 ②事業費	リーフレット「水だるし、水道使用者に「配付実施市内不動産事業者レット「水だより」の依頼イベント等においてべ「きき水」の体験水の保全に関する準備 の達成、及び活人件費の目安種別	はり」を作成 向けて全戸 信にリーフ 窓口配付を 水の飲み比 宣言の制定 可成28年 人数 根 1 人	同左 同左 水の飲みよいる 水産 水産 水定 からで 水定 からで 水定 からで 水定 からで 水定 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	ベイベントリック ままま ままま ままま ままま ままま ままま ままま まままま ままま	き 「	全に関する宣言 事業の推進 ノ・カネ】) 当たりの年 一平成30年 人数 概算 1 人	同左 同左 同左 同左 同左 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	】 成31年度 概算時間 30 H 30 H
Plan(計画) 事業内容事業量等 4.投入指標(成果の) (八年間業務時間) 職層・職 (係長職 主事・主任職 (②事業費 事業費の内訳(単	リーフレット「水だるし、水道使用者に「配付実施市内不動産事業者レット「水だより」の依頼イベント等においてべ「きき水」の体験水の保全に関する準備 の達成、及び活人件費の目安種別	はり」を作成 向けて全戸 信にリーフ 窓口配付を 水の飲み比 宣言の制定 可成28年 人数 根 1 人	同左 同左 水事実施の保全に 水の鉄はして 水の保全に が発現時間 30 H 変の現現の 変ののは、して 変ののは、して でのでする。 でのでする。 でのでする。 でのでする。 でのでする。 でのでする。 でのでする。 でのでする。 でき。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 でき	ベイベントリック ままま ままま ままま ままま ままま ままま ままま まままま ままま	き 「	全に関する宣言 事業の推進 ノ・カネ】) 当たりの年 平成30年 人数 概算 1 人	同左 同左 同左 同左 同左 1 業務時平 1 人数 30 H 1 人 30 H 1 人	】 成31年度 概算時間 30 H 30 H 成31年度
Plan(計画) 事業内容事業量等 4.投入指標(成果の) 1年間業務時間(職層・職 孫長職 主事・主任職 ②事業費	リーフレット「水だよし、水道使用者に「配付実施 市内不動産事業者レット「水だより」の依頼 イベント等においてべ「きき水」の体験 水の保全に関する準備 の達成、及び活人件費の目安 種別	はり」を作成 向けて全戸 信にリーフ 窓口配付を 水の飲み比 宣言の制定 可成28年 人数 根 1 人	同左 同左 水の飲みよいる 水産 水産 水定 からで 水定 からで 水定 からで 水定 からで 水定 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	ベイベントリック ままま ままま ままま ままま ままま ままま ままま まままま ままま	き 「	全に関する宣言 事業の推進 ノ・カネ】) 当たりの年 平成30年 人数 概算 1 人	同左 同左 同左 同左 同左 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	】 成31年度 概算時間 30 H 30 H

	事業費				
事	業費の内訳(単位:千円)	平成28年度(現況)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
	事業費	108	108	108	108
	人件費(係長職)	150	150	150	150
	人件費(主任・主事職)	102	102	102	102
総	事業費(合計)	360	360	360	360
	国庫支出金				
	都支出金				
	受益者負担額				
	その他特定財源				
	一般会計繰入金				
	起債				
	一般財源(人件費含む)	360	360	360	360
	源内訳(合計)	360	360	360	360
3	コスト計算				
ア	市民 56,079 人	こおける1人あたり	のコストは、	6円	
1	対象者	こおける1人あたり	のコストは、	円	
Ġ	成果(物) の	出来高		のコストは	円
\.\.\.\.\.\	从条件	HAND		•>=> \ 10	

イ 対象者 ウ 成果(物) ※ 対象者:

平成29年度 【事務事業評価	i(事後)】		管理No 116
Do(実行) 5.実施結果			
	画を見直し完了(次年度以降計	├画を見直す) □ 遅延	一 中断
無有	指示事項	•改善内容	
②活動実績 各種イベントに参加(きき水体駅	途 水はから販売) 市外イベン	トに参加(全国都市緑化	:フェア エコプロ
2017)、課内打合せの実施(水道施した。			
③投入実績 決算の内訳(単位:千円)	┃予算額(当初)┃補正•流用額	予算額(最終) 法	R算額 執行率
事業費	108 中4	108	108 100.0%
年間業務時間(人件費の目安)		時間	
係長職 主事·主任職	1 人 30 H 1 人 1 人 1 人 30 H 1 人	30 H	
④事業量(活動量) 実施計画		 	结
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	O各·	イベントで「きき水体験」	
〇各イベントで「きき水体験」の実 〇リーフレット「水だより」の作成・	ề施 ⇒ Oリー	ーフレット「水だより」の作 内打合せ(PR事業の実	成•配布
〇リーフレッド 水により Jの IFIX・		ットボトル水「水はむら」則	
Check【評価】			
6.事業の評価 S…より適切	なもの A…適切なもの	B…課題があり、今後、	
項目 妥 ☆ ✓ 上位施策(基本目標・施策)			
当 要	<u> </u>	ズ(需要)がある	
性としての他() / \
効 へ ☑ 最少の人件費・事業費で事 事 業務の進め方や手続きを簡		民間活力を活用している	A
性 一 その他 (
有 ○ 計画の事業量に達しなかった		計画以上の事業量を達成し	,t.
効果	事業の効果が表れている		
7.「施策の基本方針」に対する本			
健全な水道事業経営を行うため めていくことが必要である。平成2			
る方に「はむらの水」を体感してい	いただくことができた。		
また、ペットボトル水「水はむら」 く取組みを行った。(JR青梅線羽			
Action【改善】 8.今後の方向性			
	ノアップ に縮小 に実施	主体の見直し 🔲休止	・廃止 完了
【改善点】 リーフレットやチラシの内容のを	帝宝や 季節に合わせた内突 <i>の</i>)広報活動を宝施する	
プログドでアックの四番の)	し、ハ、子がにログビだり合い	ハムボルガと大心する。	
【今後の取組方針】			
リーフレット「水だより」の内容を	- 声がして妙性士フ		
水道応援団の立ち上げ、継続的 「水はむら」の販売先拡大(市を	的な活動の支援を行う。		

事業名 開始年度 実施期間 事業種別 建営手法 プロジェクト 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日		成29年			【基	本シート】			_ / <u>_</u> /_				للد جائ-	4 T III 1			수 416 IE 163 EG
01 01 01 01 02 03 04 04 04 05 05 05 05 05	1.2	基本項	目			車 						宇体			一串台		産業振興語
日本	00	a 組 出 を	<u>2</u> Δ σ	か出名			垤			Ť							
日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	00		J Z ∨.	7 N.D. IVI	BK 1):	(記) 田田 (1) 文	.1反		PD1	Ъ		神空	ואוי	1717-1711111111111111111111111111111111	NEITH TO	7 may 1431%	
03		 													ļ		
日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本		02															
関連課		03									— ————						
関連課 基本目標 3 ふれあいと活力のあふれるまち 施策区分 21 観光 重点事業№ 3 2.事業の概要 自然、歴史、文化などの観光資源の活用と、一年を通じて羽村の魅力や価値を市内外へ発信 ま木方針 観光協会が進める法人化などの組織や機能強化を図る取組みを支援します。		04									年						
基本目標 3 ふれあいと活力のあふれるまち 施策区分 21 観光 重点事業№ 3 2.事業の概要 自然、歴史、文化などの観光資源の活用と、一年を通じて羽村の魅力や価値を市内外へ発信 本の報知みを進め、地域がにぎわう観光の振興を図ります。		05									年						
2 事業の概要		関連認	果						1								
協議の	基	本目	標	3	ふね	1あいと活	カの	あふれる	まち 施	策	区分	21		観光	重点	事業No.	3
施家の	2.	事業σ							l								
根拠法令 条例 羽村市補助金等交付要綱 3か年計画 平成28年度(現況) 平成29年度 平成30年度 平成31年度 同左 同左 同左 同左 同左 同左 同左 同														村の魅力や	○価値:	を市内	外へ発信
マ	業内	観光	協会	が	進め	る法人化	なと	ごの組織や	や機能強	飳们	比を図	る取組	 みを	支援します。			
要綱等 羽村市補助金等交付要綱 3 実施計画 平成28年度(現況) 平成29年度 平成30年度 平成31年度 事業内容事業量等 法人設立に向けた支援 本表入設立に向けた支援 中成28年度(現況) 中成29年度 平成30年度 平成31年度 職層・職種別 「本校28年度(現況) 平成29年度 平成30年度 平成31年度 事業費の内訳(単位:千円) 平成28年度(現況) 平成29年度 平成30年度 平成30年度 平成30年度 平成30年度 平成30年度 平成31年度 事業費の内訳(単位:千円) 平成28年度(現況) 平成29年度 平成30年度			ר י														
Plan(計画)				12 J	:1 7	補助全等	-	t 亜 綱									
Plan(計画) 平成28年度(現況) 平成29年度 平成30年度 平成31年度 同左 同左 同左 同左 同左 同左 同左 同	У,	lile) 4 J.		*3.3.1	,,,	11111111111111111111111111111111111111	<u> </u>) <u>X</u> (1) P									
平成28年度 (現沈) 平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成31年度 雨左 雨左 雨左 雨左 雨左 雨左 雨左 雨	3.	実施計	画											1. h=1			
福助金の交付・運営支援		Plan	計画	画)		平成28年	F度	(現況)	亚	пt	29年1					平式	31年度
# 業						補助金の交付	•運	営支援			, ,	^		1,000 1,00	同名		, <u>, , , , , , , , , , , , , , , , , ,</u>
事業量等 法人設立に向けた支援 法人設立後の支援 同左 4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】) ①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】 係長職 1 人 1 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日		中书	±rth 5	厺		観光PR等の事	5業3	を援	同左				同左		同名	토	
①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】 職層・職種別						法人設立に向	けた	支援	法人設立	後(の支援		同左		同名	토	
①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】 職層・職種別																	
①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】 職層・職種別	<i>1</i> ±	<u>ም ን ቱ</u>	€ #曹(市	∎π	達成 及7	ĽΞ	動するた	かに投	λ	オスを	を 酒【ト	ト・エ	<u>/・カネ】</u>)			
極層・極性別															間業和	多時間]
大数			職	層•〕	職和	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■											
主事・主任職 1 人 12 H 1 人 1 L	侅.	長職								_							
事業費の内訳(単位:千円) 平成28年度(現況) 平成29年度 平成30年度 平成31年度 事業費 人件費(係長職) 人件費(主任・主事職) 55 55 55 55 人件費(主任・主事職) 41 41 41 41 総事業費(合計) 18,264 7,932 7,932 7,932 国庫支出金 都支出金 受益者負担額 その他特定財源 一般会計繰入金 起債 一般財源(人件費含む) 18,264 7,932 7,932 7,932 財源内訳(合計) 18,264 7,932 7,932 7,932 ③コスト計算 ア 市民 56,079 人における1人あたりのコストは、 人における1人あたりのコストは、 日 141 円			任聙								1人			1 入		1 人	
事業費																	D
人件費(係長職) 55 55 55 人件費(主任・主事職) 41 41 41 総事業費(合計) 18,264 7,932 7,932 7,932 国庫支出金 お支出金 受益者負担額 20<	事:	業費の	<u>)内</u>	沢	<u>(単</u>	<u>位:千円)</u>		平成28年		_	平	成29年					
人件費(主任・主事職) 41 41 41 4 事業費(合計) 18,264 7,932 7,932 7,932 国庫支出金 都支出金 受益者負担額 2 3				至長	朏)												
総事業費(合計) 18,264 7,932																	
都支出金	総	事業費	(合	·計)					18,26	4			7,932		7,932		7,93
受益者負担額 その他特定財源 一般会計繰入金 起債 一般財源(人件費含む) 18,264 7,932 7,932 7,932 財源内訳(合計) 18,264 7,932 7,932 7,932 ③コスト計算 ア 市民 56,079 人における1人あたりのコストは、 141 円 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円										4							
一般会計繰入金 起債 一般財源(人件費含む) 18,264 7,932 7,932 7,932 財源内訳(合計) 18,264 7,932 7,932 7,932 ③コスト計算 ア市民 56,079 人における1人あたりのコストは、 141 円 イ対象者 人における1人あたりのコストは、 円					額												
起債 18,264 7,932 7,932 7,932 財源内訳(合計) 18,264 7,932 7,932 7,932 ③コスト計算 ア市民 56,079 人における1人あたりのコストは、 141 円 イ対象者 人における1人あたりのコストは、 円		その	他特	定	才源												
一般財源(人件費含む)18,2647,9327,9327,9327,932財源内訳(合計)18,2647,9327,9327,932③コスト計算下市民56,079人における1人あたりのコストは、141円イ対象者人における1人あたりのコストは、円			会計	·繰,	入슄	<u> </u>											
財源内訳(合計) 18,264 7,932			財源	人)	、件	費含む)			18.26	4			7.932		7.932		7.93
ア 市民 56,079 人における1人あたりのコストは、 141 円 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円		源内部	合)分	·計)													
イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円	_		計算			F0 070	 برا				Λ				<u> </u>		
			<u>+</u>			56,079							<u> </u>	1			
							の	出来高		7	77-7	いづめ、	<u> </u>	のコスト			P

ウ 成果(物) ※ 対象者:

平成29年度 【事務事業評価	(車後)】			管理No	117
Do【実行】	(争议/】			日土NO	117
5.実施結果					
	画を見直し完了	(次年度以降計	画を見直す)	遅延 口中	断
①指示事項・改善		指示事項・	·改善内容		
無有		カッチス	W 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		
②活動実績					
4月に大型テレビモニターを観光:	案内所へ取り入	れ、情報発信の)支援を行うことが [.]	できた。	
また、4月1日付けで法人化、10月 た。	1日付けで観光	協会事務所の	移転に伴う観光案	内所の通年開	館を実施し
③投入実績 決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)		予算額(最終)	计管据	劫怎家
事業費	7,836	補正•流用額	7,836	決算額 7,836	<u>執行率</u> 100.0%
	当初計画	実績	7,000	7,000	100.070
年間業務時間(人件費の目安)	人数 概算時間		時間		
係長職			11 H		
主事・主任職	1人 12	H 1人	12 H		
④事業量(活動量) 実施計画					
〇補助金の交付・運営支援			カ金の交付・運営支 KBB等の恵業古塚		
〇観光PR等の事業支援 〇法人設立後の支援			ピPR等の事業支援 人設立後の支援		
0次人成立後の文法		OZ	(以立後の文)及		
Check (評価) 6.事業の評価 S…より適切 項目	<u>なもの A…適</u>	値切なもの	B…課題があり、◆		<u>◇要なもの</u> 長評価
	大法式オスカに必要	た 声 类 で ま フ		<u></u>	及計画
妥 [○] ✓ 上位施策(基本目標・施策) 当 要 ✓ 今の社会情勢に見合う事業		ゅ事来でめる]者・対象者のニース	げ(電亜)がある		Λ
= 作	C000 V 111/11	16 MAGOL /	((m安/15000		$m{\wedge}$
<u> </u>				, ,	
効 (最少の人件費・事業費で事本 法 ※務の進め方や手続きを簡に		. ✓	民間活力を活用してい	N6	Λ
	略化・簡素化している	Ó			A
性 〜 □ その他 ()	
有 🚊 🗌 計画の事業量に達しなかった	: 🗸 計画の事業	業量に達した 🗌	計画以上の事業量を	達成した	A
対 果 ② 事業の目標が達成された	✓ 事業の効果	果が表れている			Α
性 🕒 🗌 施策の基本方針推進するう	えで具体的な成果が	あった		•	•
7.「施策の基本方針」に対する本				-	
平成29年4月1日付けで法人化し	、10月1日付けて	で観光案内所を	通年開館したことで	で、観光客が立	ち寄れる
環境が整備できた。					
Action【改善】					
Action (X音) 8.今後の方向性 					
	アップ 🔲 縮	小 実施主	上体の見直し 🔲	休止・廃止	完了
<u></u>	٠٠٠٠ الحصن	<u> </u>	· رکس ی	<u>r</u>	
【今後の取組方針】					
引き続き、機能強化に向け支援を	と行う。				

17	平成29年度 【基本シート】											
		9年及	▲ Ž	を本ン一ト		作成	部署		产業	環境 部		産業振興課
1.3	조식	<u> </u>		事業名			即包 年度	実施		事業種別	運営手法	<u>生未派共</u> 品 プロジェクト
00	花。	上水のま	つり、夏	<u> </u>	祭り等の充		年	<u> </u>	\ <u> </u>	于不住加	是日子丛	7 - 7 - 7 1
	01	夏まつ	IJ			昭和	51 年	継	続	自治事務(市独自)	施行者への補助・助成	0
	02	観蓮会	蓮会				4 年	継	続	自治事務(市独自)	施行者への補助・助成	0
	03	ふるさと	-祭り			平成	13 年	継:	続	自治事務(市独自)	施行者への補助・助成	0
	04	産業祭					45 年	継:	続	自治事務(市独自)	施行者への補助・助成	0
		花と水の	のまつり			平成	14 年	継	続	自治事務(市独自)	施行者への補助・助成	0
	関連課 関連課 基本目標 3 ふれあいと活力のあふれるまち 施策区分 21 観光 重点事業No. 4											
		目標の概要		れめいと活力の	めふれる	ま5 肔朿	区分	21		観光	重点事業№.	4
基 事業内容 根	業 りー層の内容の充実を図るとともに、羽村の独目性を前面に出した新たなイベントの開催についても 内 検討します。 容 根拠法令 条例											
3.	実が	达計画										
	DI:	an【計[胡	平成28年度	(11) (11)					か年計画		
		an i K ti i i	= 1				.29年/			成30年度		31年度
イベント内容の充実								ミネーション わい音楽祭等				
4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】) ①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】								,				
(1):	中门	1美務	時間(人件費の目安								
		職	層∙職	種別		<u>度(現況)</u> 既算時間	人数	成29年 概算		<u>平成30年</u> 人数 概算	<u>F度 </u>	成31年度 概算時間
係	長耶	能			1人	900 H	1人		00 H	1人 9	900 H 1 人	900 H
主	111-6-111					1,800 H	2 人	1,80	00 H	2 人 1,8	800 H 2 人	1,800 H

	/	F 3- 323 12 4 1 3 1 1	<u>- > / </u>	<u> </u>	į	7 T T T T T T T T T T T T T T T T T T T	23 F 3 1 F 3 Z	
職層∙職種別		8年度(現況)	平	成29年度	平月	成30年度	平成31年度	
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	900 H	1人	900 H	1人	900 H	1人	900 H
主事·主任職	2 人	1,800 H	2 人	1,800 H	2 人	1,800 H	2 人	1,800 H

②事業費

不具				
養の内訳(単位:千円)	平成28年度(現況)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業費	49,170	57,281	57,281	57,281
人件費(係長職)	4,478	4,478	4,478	4,478
人件費(主任・主事職)	12,237	12,237	12,237	12,237
業費(合計)	65,885	73,996	73,996	73,996
国庫支出金				
節支出金	1,500	1,750	1,750	1,750
受益者負担額				
その他特定財源				
-般会計繰入金				
记債				
-般財源(人件費含む)	64,385	72,246	72,246	72,246
内訳(合計)	65,885	73,996	73,996	73,996
	:費の内訳(単位:千円) 事業費 人件費(係長職) 人件費(主任・主事職) :業費(合計) 国庫支出金 都支出金 の世特定財源 一般会計繰入金 では では では では では での他特定財源 一般財源(人件費含む) では には には には には には には には には には に	要の内訳(単位:千円) 平成28年度(現況) 事業費 49,170 人件費(係長職) 4,478 人件費(主任・主事職) 12,237 (業費(合計) 65,885 国庫支出金 1,500 受益者負担額 その他特定財源 一般会計繰入金 記債 64,385 「内訳(合計) 64,385	費の内訳(単位:千円) 平成28年度(現況) 平成29年度 事業費 49,170 57,281 人件費(係長職) 4,478 4,478 人件費(主任・主事職) 12,237 12,237 (業費(合計) 65,885 73,996 国庫支出金 1,500 1,750 受益者負担額 20 20 その他特定財源 20 20 一般封源(人件費含む) 64,385 72,246 「内訳(合計) 65,885 73,996	費の内訳(単位:千円) 平成28年度(現況) 平成29年度 平成30年度 事業費 49,170 57,281 57,281 人件費(係長職) 4,478 4,478 4,478 人件費(主任・主事職) 12,237 12,237 12,237 (業費(合計) 65,885 73,996 73,996 国庫支出金 1,500 1,750 1,750 受益者負担額 20 1,750 1,750 その他特定財源 20 20 20 一般財源(人件費含む) 64,385 72,246 72,246 「内訳(合計) 65,885 73,996 73,996

(3)⊐	ス	ト計	-笛
(3)—	\sim	7	#

56,079 人における1人あたりのコストは、 人における1人あたりのコストは、 の 出来高 ア市民 イ 対象者 ウ 成果(物)

1,319	円
	円
のコストは	円

平成29年度 【事務事業評価	(事後)】			管理No	118
Do【実行】 5.実施結果					
レ計画どおり完了 □計i	画を見直し完了(次年度以	以降計画を見直す) 遅延	中断	
①指示事項・改善		示事項•改善内容			
無有口口口口口口口口口口口口口口口口口口口口口口口口口口口口口口口口口口口口口	187	N事项 以吉内各			
花と水のまつりは、多くの来場者		1814-084-1-1-1-1	·	* L	
夏まつりは、「水」をテーマに開催協力を得て、来場者が楽しめる。		が伸ひなかつたか	、多摩ケーノ	ノルネットワ	-900
産業祭は、「はっしん!」をテーマ		魅力を発信するこ	ことができた。		
はむらイルミネーションでは、激音	テフェスを開催した。また、	台風で一度延期	となったイベン	ノトは、開催	日を変
更し実施することができた。 その他、はむらふるさと祭り、観察	重会、はむらにぎわい音楽	終祭の開催を支援	し、イベントの	充実を図っ	ot=。
③投入実績					
決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初) 補正・流				执行率
事業費	57,281		7,613	57,556	99.9%
年間業務時間(人件費の目安)	当初計画 人数 概算時間 <mark>人数</mark>	実績 概算時間			
係長職	1人 900 H 1人	900 H			
主事·主任職 ④事業量(活動量)	2 人 1,800 H 2 人	1,800 H			
実施計画			今年度実績	<u> </u>	
〇イベント内容の充実		〇イベント内容の	充実		
花と水のまつり 230,000人		花と水のまつり 夏まつり 100,00			
夏まつり 230,000人	⇒	ふるさと祭り 24			
ふるさと祭り 23,000人 産業祭 85,000人		産業祭 90,000		- 1	
はむらイルミネーション 18,000	人	はむらイルミネ- はむらにぎわい		八	
はむらにぎわい音楽祭等 〇新たなイベントの検討		104 31-6 170			
し利/こなり、シーの(英語)					
Check【評価】	なもの A…適切なもの	ここ 田 晒 よぐ	'七八	4 羊状心 亜	i+>+
6.事業の評価 S…より適切 項目	よもの A…適切なもの) D…珠翅か	<u>あり、今後、i</u>	双音が必要 課長	
妥 û ☑ 上位施策(基本目標·施策)	 を達成する為に必要な事業であ	 る			
当 要 ✓ 今の社会情勢に見合う事業		うつニーズ(需要)がある			\
性 性 ☆ □ その他 (
効 ○ □ 最少の人件費・事業費で事	 務が執行されている	✓ 民間活力を活	5用している		
率 法	格化・簡素化している				1
性 🗀 🗌 その他 ()	
有 🦙 🗌 計画の事業量に達しなかった	計画の事業量に達した	計画以上の引	事業量を達成した		
効 果 ② 事業の目標が達成された	□ 事業の効果が表れてし	る			1
性 ン ② 施策の基本方針推進するう	えで具体的な成果があった				
7.「施策の基本方針」に対する本		をおり 中の代用	上が担こ ね。 1-	せんいナ会	lulu
一部のイベントでは、天候に左右観光振興を図ることができた。	される桁末となつたか、男	F合は一正の成果	が何りれ、に	されいを思	近し、
Action【改善】					
8.今後の方向性 ☑ 現状のまま継続 ☑ レベル	アップ 編小	実施主体の見直し	. □休止□	棄止 □□	完了
【改善点】	- > - Interest	ン 5/80 ユードロ・マン0 戸(- 1		-01
天候に左右されにくい工夫を検討	していく。				
【今後の取組方針】					

平	成29年度	【砉	基本シート】									
1.	基本項目											
			事業名			開始	1年度	実施期間	事業種別	運営手	法	プロジェクト
00	農商観連携	携事業の	推進			不明	年	継続	自治事務(市独自)	直営		\bigcirc
	01						年					
	02								-			
									_	 		
	03						平		<u> </u>	ļ		
	04						年					
	05						年					
	1											
基	本目標	3 3	れあいと活	カの	あふれる	まち 施策	区分	21	観光	重点事業	ŧΝο.	7
		 要				1						
	自		史、文化な	どσ.)観光資源	原の活用	∠. – ا	年を通じて羽	羽村の魅力や	b価値をi	市内	外へ発信
		る取組	みを進め、	地填	或がにぎれ	つう観光の	の振興	を図ります。				
_	農業、商	業、観	光が連携し	<u></u> 、 オ	たと水のま	つりなと	のイベ	シト会場や	観光案内所	等でのマ	ソルシ	ノエの開催
争業												
内	の利用仮	産進を図	切ります。									
容												
安	柳寺											
3.	実施計画								- / 			
	Plan【計[画)	平成28年	丰度	(現況)	₩ =	too在1			1 7	17 cl;	21 年 庄
			産業祭での野	英グ	ランプリの		<u> </u>		上队30十尺		一儿	31午及
			開催や観光案	内所								
				惟								
			細ツ安内記り	. # #		□ +		细业学	ᆥᇝᇎᇇᄈᆇᄴᆄ	· +		
						问左						
	事業重	等										
				の実	施する15日							
						6回				6回		
			о <u>га</u>					VE VE				
									_			_
(1)	年間業務	時間(,	人件費の目	安								
	職	層∙職績	锺別									
係	長職										_	
主	事・主任職	鈛										50 H
								B			_	D
事	日本											
		玄巨 融	\			240	\	2/10)	,		
総	事業費(合	`計)	_ 3 1507				_					
03												
									-			
			百									
日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本												
	日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本											
	一般財源		費含む)									
						419		419		1,919		1,919
		<u>!</u>	FA 077	1 . <i>.</i>		1 + 4	ام <i></i> -			<u> </u>		
			56,079	4								
				1			, U, J , A	\r\d\ <u> </u>	のコスト			

平成29年度 【事務事業評価	i(事後)】				管理	里No 119
Do(実行) 5.実施結果					_	
□ 計画どおり完了□ 計 ①指示事項・改善	画を見直し完了	(次年度以降計	十画を見	直す)	遅延	中断
無有		指示事項	・改善戍	容		
②活動実績 農商観とのマッチングについては	は、激辛フェスに	おいて、市内産	のとう	がらしとマッ	チングを行	った。また、市
内の飲食店へ、市内農業者の地物や羽村の銘菓を出品した。						
観光案内所や農産物直売所を活			用者の	ニーズ等、	情報収集Ⅰ	こ努めた。
15日市については、計画された6 ③投入実績	凹の開催文法を	さ行つた。				
決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正•流用額	予算	[額(最終)	決算額	
事業費	当初計画	実績				0 -
年間業務時間(人件費の目安) 係長職	人数 概算時		時間 50 H			
主事·主任職	1人 50		50 H			
④事業量(活動量) 実施計画				今年	度実績	
〇農商観とのマッチングのコーラ	ディネート 4件					
〇産業祭での野菜グランプリの 内所でのはむらマルシェの開催	開催や観光案					ィネート 3件 催や観光案内
〇観光案内所や農産物直売所を		所で	のはむ	らマルシェの	D開催 2回]
ントの検討 〇商業協同組合の実施する15E	日市の支援 6回		耒協问	組合の美麗	19 615日	市の支援 6回
Check (評価) 6.事業の評価 S…より適切	た ま の Δ…る	適切なもの	B…≝	2題があい	会後 改争	きが必要なもの
項目			رو ک	KRE 13 '03'9'	7 12 \ W =	課長評価
妥 。 ✓ 上位施策(基本目標・施策 当 要 ✓ 今の社会情勢に見合う事業)を達成する為に必要 そである 「ノ」 利用	を事業である 日者・対象者のニー	ブ(季亜)	がある		Λ
当 要 ✓ 今の社会情勢に見合う事業 性 ✓ ○ その他 ((CO) [V] 1117	n	八(前女)	13.00.0		
)	
効 ヘ 最少の人件費・事業費で事			民間活	カを活用して) _	^
本 法 ✓ 業務の進め方や手続きを簡			民間活	もうな活用して)	A
手	略化・簡素化してい	3)	A
手	略化・簡素化している	3		をお用して はままれる ままま ままま はまま ままま はまま はまま はまま はまま はまま はま)	A
事 業務の進め方や手続きを簡性 性 その他 (有 (成果) 事業の目標が達成された 性 施策の基本方針推進するう	略化・簡素化している 計画の事 事業の効 えで具体的な成果か	る 業量に達した 果が表れている)	A
事業 ② 業務の進め方や手続きを簡性 性 ○ こその他 (有 ○ 計画の事業量に達しなかっかり 効果 ② 事業の目標が達成された	略化・簡素化している 計画の事	る 業量に達した 果が表れている があった	〕計画以	从上の事業量 を)	A A J出につながる。
事 ② 業務の進め方や手続きを簡性 性 ○ その他(有(成果) ② 事業の目標が達成された性 性 ○ 施策の基本方針」に対する	略化・簡素化している 計画の事	る 業量に達した 果が表れている があった	〕計画以	从上の事業量 を)	A A II出につながる。
平 法	略化・簡素化している 計画の事	る 業量に達した 果が表れている があった	〕計画以	从上の事業量 を)	A A J出につながる。
平 法	略化・簡素化している	業量に達した 「 果が表れている があった 進していくこと か] 計画以 《羽村下	人上の事業量を) 上達成した	
手 ✓ 業務の進め方や手続きを簡性 → その他 (略化・簡素化している	業量に達した 「 果が表れている があった 進していくこと か] 計画以 《羽村下	人上の事業量を) 上達成した	
手 法	略化・簡素化している	業量に達した	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	以上の事業量を 万全体のに 見直し) 上達成した	
平 法	略化・簡素化している	業量に達した	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	以上の事業量を 万全体のに 見直し) 上達成した	

	成29年		基本シート】									
1.	基本項	[目				部署		産業	環境 部	VE 24 -		<u> </u>
	+±+'=	++>+は/+- <i>*</i>	事業名 5用した情報発信	シューノプロコ	-	年度	実施其	月間	事業種別	運営	F法	プロジェクト
00	ションの		5円し/ご月報発信	・ンティノロー	不明	年	継続	売	自治事務(市独自)	直営	营	\circ
	01					年						
	 											
	02					年						
	03					年						
	04					年						
	05					年						
	関連課	₹			1							
基	基本目標	標 3 ふ	れあいと活力の	あふれる	⊧ち 施策	区分	21		観光	重点事	業No.	8
2.	事業の	概要										
			史、文化などの						村の魅力や	価値を	市内	外へ発信
	短策の 本方針	する取組	みを進め、地均	或がにぎれ	っう観光₫)振興	を図りま	きす。				
4	イナンフェー											
事			各種情報誌なる									
業			バーチャルリア	リティで紀	介するシ	ステノ	ℷを導入	.L.1	イベントなど	での活	用を図	図るなど情
内	報発信	言機能を引	鱼化します。									
容												
	拠法令	ì										
条												
安	綱等											
3 :	実施計	· 面										
Ü.,			亚世纪左	· / TD 				3	か年計画			
	Plan [計画】	平成28年度	(現况)	平成	.29年月			成30年度		平成	31年度
			テレビ、新聞、各種		同左		F	司左		同左		
			メディアを活用して 施	PR沽虭を実								
			主世界でいり (ご	T	VD(r+ 1-\1	(D/.& T. 1111	- VD(.	·	
	古业	中郊	産業祭でVR(バー ティ)を活用した産		映像を活用				'R(バーチャルリ k像を製作し、産			ァルリアリティ) レて産業のPRを
		内容 量等	施		実施		σ.	DPRを	実施	実施		
	学 未	里寸					悼	青報通信	言機器の導入検	討		
					情報通信機	器の活用	月の調 ※	《事業を	₽検討する中で	情報:	通信機	器の導入
					査・研究		茅	美費を算	 工			
			D達成、及び活									_
<u>(1)</u>	年間業	務時間(人件費の目安						当たりの年			
		職層∙職	種別	平成28年	<u>度(現流)</u> [算時間	人数	成29年/ 概算問		│ 平成30年 人数 概算		人数	成31年度 概算時間
侅	長職			1人	10 H			0 Н		4.0	1人	似异时间 10 H
	<u>ਲ਼ੑੑਜ਼ਲ਼</u> 事•主	任職		1 人	20 H			0 H		20 H	1 入	20 H
	事業費								- 1			
事	業費の		位:千円)	平成28年	度(現況)	平	成29年/	度	平成30年		平月	成31年度
	事業									2,000		
	一人件名	費(係長職			50 68			50		50 68		50
415								68		nxi		68
Z:L:	人件		E事職)									110
総	人件 事業費	(合計)	E 争 職) 		118			118		2,118		118
総	人件 事業費	(合計) 支出金	E事職)									118
総	人件 事業費 国庫 都支出 受益者	((合計) 支出金 出金 者負担額										118
総	人件 事業費 国庫支 都支 その他	(合計) 支出金 出金 者負担額 也特定財》	原									118
総	人件費 国都受る 一般会	((合計) 支出金 出金 者負担額	原									118
松	人業国都受そ一起の一起情報	((合計) 支出金 出金 者負担額 也特定財源 会計繰入。	京金		118			118		2,118		
	人業国都受そ一起一	(合計) 支出金 出金 者負担額 也特定財源 会計繰入。	京金		118			118		2,118		118
財	人事国都受そー起ー源 大学庫を基本の のの のの のの のの のの のの のの のの のの	(合計) 支出金 出金 者負担額 也特定財源 会計繰入。 財源(人件	京金		118			118		2,118		
財③	人業庫 支 金 の 投 信 限 コ ス ト ス ま	(合計) 支出金 出金 者負担額 也特定財源 会計繰入。 財源(人件	原金 豊含む)	こおける1	118 118 118		トは	118		2,118 2,118 2,118		118
<u>財</u> ③ア	人事国都受そー起ー源 大学庫を基本の のの のの のの のの のの のの のの のの のの	((合計) 支出金 出金 者負担額 也特定財源 会計線入至 財源(人件 ((合計)	原 金 ・費含む) 56,079 人	こおける1	118 118 118 人あたり	のコス		118		2,118		118

平成29年度 【事務事業評価	(事後)】				管理No	120
Do(実行) 5.実施結果						
□ 計画どおり完了□ 計訂□ 計算□ 計算□	画を見直し完了の	(次年度り	人降計画を 見	l直す) <mark></mark> i	屋延 □中	断
無有		指示	事項∙改善戍	P容		
②活動実績 はむら夏まつり等のイベントにつ	いては 空例詞:	老合目と	广報紙 古人	ハポサイト笙	のさまざまたカカ	は休え汗田
し、PR活動を行った。また、VR() て検討し、産業のPRを行った。 ③投入実績						
受技へ美額 決算の内訳 (単位:千円) 事業費	予算額(当初)	補正∙流	用額 予算	額(最終)	決算額	執行率
年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績		<u> </u>	
「係長職	人数 概算時間 1 人 10	引 人数 H 1 人	概算時間 10 H			
主事•主任職	1人 20		20 H			
④事業量(活動量) 実施計画				今年.	隻実績	
〇テレビ、新聞、各種情報誌等 <i>の</i>)メディアを活用		〇テレビ、新	聞、各種情報	最誌等のメディ	アを活用し
してPR活動を実施 OVR(バーチャルリアリティ)映像	9を活田 て産	\Rightarrow	てPR活動を OVR(バー・		ティ)映像を活月	田 て産業
業のPRを実施			のPRを実施			りて注来
○情報通信機器の調査・研究			〇情報通信	機器の調査・	· 研究	
Check【評価】						
6.事業の評価 S…より適切 項目	なもの A…適	<u> 切なもの</u>	B…∰	!題があり、⁴	<u>う後、改善が必</u>	必要なもの 長評価
妥 û ☑ 上位施策(基本目標·施策)	 を達成する為に必要	な事業である	 3		- 日本	及計圖
当 要 ✓ 今の社会情勢に見合う事業 性	である □ 利用	l者∙対象者	のニーズ(需要)	がある)	Α
効 ヘ 最少の人件費・事業費で事	 務が執行されている		□ 民間沿	力を活用してい	გ	_
手 ✓ 業務の進め方や手続きを簡 性 ✓ ▼ その他 (略化・簡素化している	5)	Α
有 ○ 計画の事業量に達しなかった	 計画の事業	業量に達した	: 計画以	よ上の事業量を達	達成した	_
効果 事業の日標が達成された		果が表れてい	る			ΑΙ
性 〜		あった				
新たな情報通信機器を活用し、交		信手段に	よるPRを行	うことができる	るものと考える	0
Action【改善】						
8.今後の方向性 ☑ 現状のまま継続	アップ 🔲縮	小	実施主体の	見直し 🔲	木止・廃止	完了
【改善点】 <mark>情報通信機器の導入検討、羽村</mark>	駅・小作駅等へ	のWi-Fi環	境の整備・	活用を図って	いく。	
【今後の取組方針】 新たな情報通信機器の活用を調	査・研究し情報	配信の充	実を図ってし	١٧,		
THE PROPERTY OF THE PARTY OF TH		.5 (4 -5 50)		.0		

平成29年度	【基	基本シート】			1115	4 p m		للد جاب	L = IIII - 	⊥ nl			÷ 46 l= 101 =0
1.基本項目 		事業名				部署	実施		環境事業		運営·		産業振興説 プロジェクト
 00 農商観連携加	色設の	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •				27 年		 	自治事務		直		0
01						年							
02						—— <u>·</u> 年							
03						年							
04						年							
05						—— <u>·</u> 年							
関連課									l .	<u> </u>			
基本目標 3	ふ	れあいと活力	」のあふれ	いるま	ち施策	区分	21		観光	j	重点事	業No.	9
2.事業の概要		± 4.45	i o to v	'क भट	ТП	1	++ \3	I - 77	+1 o ti	+	/T /± /	·	ы . <i>5</i> ∞ /=
		史、文化なる みを進め、							个) ひ) 尨	<u>を</u> 刀 べっ	四個名	ᅄ	外へ発信
		や名産品・特 引所の機能を									の発信	を、-	-年を通じ
 根拠法令													
条例													
要綱等													
3.実施計画													
Plan【計画]	平成28年	度(現況	7)	平成	29年月	<u></u>		か年記 成30年			平成	31年度
		サイクリングス体的な農商観			サイクリング 一体的な農	「ステージ	ノョンと	サイクリ	<u>バス</u> ングステ な農商観	ーション		クリング	ステーションと あ観連携施設
事業内容		の基本構想の	検討および	策定	しての実施	計画の第	定	の整備			の運		
事業量等					※事業を検 業費を算出	討する中	で、事						
4.投入指標(成) 1年間業務時					めに投入 務執行に						児業 器	x 時間	1
職層			平成:	28年月	变(現況)	平	成29年	- 度	平原	戈30年	度	平月	成31年度
係長職	46%	1王刀リ	人数 1 人		算時間 50 H	人数 1 人	概算	<u>時間</u> 00 H		概算8	時間 50 H	人数 1 人	概算時間 50 H
主事·主任職			1人		25 H			50 H	1人		00 H	1人	25 +
②事業費 事業費の内訴	1 / 12	位:千円)	亚战(20年1	度(現況)	<u> </u>	成29年	市	जिल्	太30年	帝 【	ग्र.	或31年度
事業費			十八八	20-1-7	又(死ル)		火とシゴ	- 又	T 19	2004	又 –	<u> </u>	火川十尺
人件費(係					249			498			747		24
人件費(主 総事業費(合言		<u>上争城)</u>			85 334			170 668		1	340 , 087		33 ₄
国庫支出金													
都支出金 受益者負担	日紹												
その他特定	と財活												
一般会計約 起債	朵入 多	<u>金</u>											
	人件	-費含む)			334			668		1	,087		334
財源内訳(合語	†)				334			668		1	,087		33
③コスト計算ア 市民		56,079	人におけ	tる1.	人あたり	のコス	いは、			1	2円		
イ 対象者		, ,	人におけ	tる1 <u>.</u>	人あたり						円		
ウ 成果(物) ※ 対象者:			の出来	ド高					<u></u>	コストに	t		P

平成29年度	【事務事業評価	(事後)】				管理No	121			
Do【実行】	1.	(F Z / J				<u> </u>	121			
5.実施結果 レ計画どおり写 ①指示事項・改		画を見直し完了	(次年度以	降計画を見	見直す)	遅延 □中	断			
無有		>		事項・改善			7111			
		ステーションと <mark>ー</mark> 向けては、全庁					つるととも			
	10、共死1610	同けては、主力	וניווי דין אינים	しのグ心の口	ייי נואלואנוים	E07-0CC.				
②活動実績 他自治体の取締	組み事例や建設網	· 基本 医二甲基基	ラシューシッと	ブコスト等に	ついての情	報収集を行い	羽由4丁日			
の土地開発公社	性所有の土地を整						(4)11 11 11			
③投入実績 決算の内訳(単	<u> </u>	予算額(当初)	┃補正•流』	田姑 子僧	算額(最終)	決算額	執行率			
事業費	≠位.十门/	了并做(当初)	作用ユニーがした	中位 了	千台只(4文小学)	大 <u>异</u> 银				
	/ L # 書 a 口 中 \	当初計画		実績]					
	(人件費の目安)	人数 概算時	引 人数	概算時間						
係長職 主事・主任職			H 1 人	100 H	_					
4事業量(活動	量)	1人 50	H 1 人	50 H						
************************************	<u>/亚/</u> 実施計画] [今年	度実績				
〇サイクリング	ステーションと一位	▶的な農商観連	⇒ (つサイクリン	ノグステーシ	ョンと一体的な	農商観連			
携施設としての実施計画の策定 携施設としての整備計画の検討										
Check(評価) 6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの 項目 課長評価										
妥 🖟 🗌 上位抗	施策(基本目標・施策)	を達成する為に必要	な事業である	5						
2.1	t会情勢に見合う事業 !(である 🔽 利月	月者・対象者(のニーズ(需要)がある)	A			
''' 至 二	の人件費・事業費で事 の進め方や手続きを簡に		3	□ 民間	舌力を活用して	いる	Λ			
本 法 □ へが その他			y)				
有 🌣 🗌 計画0	の事業量に達しなかった	: 計画の事	業量に達した	□ 計画」	以上の事業量を	達成した	_			
効 果 ☑ 事業の	の目標が達成された	□ 事業の効	果が表れてい	る			Α			
性 🗆 🗌 施策の	の基本方針推進するう	えで具体的な成果か	ぶあった							
	方針」に対する本			1811.27	7 4 4 - 4 - 		+ 4 1.1 1.			
	テーションの整備し ごあり、商業振興や					はの観光貧源	を生かした			
Action【改善】										
8.今後の方向性		アップ	: /\	宝体主体の		从 止.	一一中マ			
□ 現状のままれる	継続		i.i. 🔲	大心工作の	元旦し 📙	休止・廃止	完了			
【改善点】										
「人名の町和士	· AL T									
【今後の取組方引き続き効果的	<u> </u>	検討を重わると	ともに、補	助金等の問	オ源について	ても検討し 宝田	見性のある			
整備計画を策定		スロッと主なると		<i>-</i> 20 π - 40 √ 2 × 1			JU 17 00 00 .00			

						_												
-	成29年度	_	【基	本シ	一ト】					11_15	±= 000		للد جاب	4 - m 1 + 4 - l			للد جات	. Je- res = 00
<u> 1.</u>	基本項目		_	- 114	_						部署	- +		環境 部	I van a			<u> 振興課</u>
			-	事業:	<u>名</u>					開始	年度	実施	期间	事業種別	連	営手法	175	コジェクト
00	国際化対	応の	推進							平成	27 年	継	绕	自治事務(市独自	業務:	委託(一部)	0
	01										年						<u> </u>	
	02										年						<u> </u>	
	03										年							
	04										年							
	05										年							
	関連課	東	京才	リン	ピック	7•/	゚゚ヺ゙゚゚	ノピ	ックジ	隼備室	<u>:</u>					,		
į	基本目標	3	ふれ	あい	と活	力の)ある	ふれる	まち	施策	区分	21		観光	重点	事業No	L	10
2.	事業の概	要																
	施策の す 本方針	る耶	又組み	を追	進め、	地	域が	にぎ	わう	観光の)振興	を図り	ます。	村の魅力				
事業内容	示のユニ す。	ニバ	ーサ	ル化	や観	見光:	ガイ	ドの育	育成、	れる外 、宿泊	国人 《 環境の	ら今後 の充実	増加す などの	「ることが予)国際化に	·想さ 句けか	れるたる こ取組み	め、3 みを述	≷内表 ≛めま
	拠法令	区	市町	村観	光イ	<u>′ンフ</u>	フラ	譥備事	業									
	:例																	
要	綱等																	
3.	実施計画	Ī																
	Plan【計	TEST \		17 F	龙28 :	年度	F (IF	::D)					3	か年計画				
	Гандр									平成	,29年/	隻		成30年度			艾31年	
				観光の 周査・村		ーバル	/化に	向けた	同左	Ē				会と連携して、? 光ガイドの作成		卜国語版 額	見光ガイ	作の活用 かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かい

Plan【計画】	平成28年度(現況)	3か年計画								
	十八20十尺(况况)	平成29年度	平成30年度	平成31年度						
	観光のグローバル化に向けた 調査・検討		観光協会と連携して、外国 語版観光ガイドの作成	外国語版観光ガイドの活用						
事業内容	外国語版ガイドマップの作成 (英・中・韓 各2万部)	外国語版ガイドマップの作成(タイ・インドネシア 各1 万部)	外国語版ガイドマップの活 用	同左						
事業量等		化の検討	同左 ※ユニバーサル化の検討 の中で事業費を算出	案内表示のユニバーサル 化						
		外国人向けの観光ガイドの 育成	同左	同左						

(1)年間業務時間(人件費の目安)	【事務執行に	<u>-要す</u>	る人数と1人	<u>.当たり</u>)の年間業績	<u> 努時間</u>		
職層・職種別	平成2	8年度(現況)	平	成29年度	平月	成30年度	平成31年度		
「現代主力」 	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	
係長職	1人	10 H	1人	30 H	1人	30 H	1人	30 H	
主事•主任職	1人	20 H	1人	50 H	1人	50 H	1人	50 H	

②事業費

事:	業費の内訳(単位:千円)	平成28年度(現況)	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	事業費	3,006	1,000	1,000	-	
	人件費(係長職)	50	150	150	150	
	人件費(主任・主事職)	68	170	170	170	
総	事業費(合計)	3,124	1,320	1,320	320	
	国庫支出金					
	都支出金	1,503	500			
	受益者負担額					
	その他特定財源					
	一般会計繰入金					
	起債					
	一般財源(人件費含む)	1,621	820	1,320	320	
財	源内訳(合計)	3,124	1,320	1,320	320	
3:	③コスト計算					
_	+ C 50,070 1.1		~ 1 / L	0.4		

ア	市民	56,079	人に	こおける1	人あたりの:	コストは、
1	対象者		人に	おける1	人あたりの:	コストは、
ウ	成果(物)		の	出来高		
×	対象者:		-			•

円
円

平成29年度 【事務事業評価	· 「(事後)】	■ 管理No 122			
Do【実行】	(T 10/4	B-1110 122			
5.実施結果 レ 計画どおり完了 計	画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延	上 中断			
①指示事項・改善	画を兄直し元 ↑ 《八千度以降計画を兄直り》 □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□				
無有	指示事項·改善内容				
②活動実績	いっとで語)を0日になり下却にはしま。細ツのだり、。	ジェルに向けた調本			
	ドネシア語)を9月に各1万部作成した。観光のグローバについて、補助金の獲得も含め、他自治体の情報収証				
③投入実績					
決算の内訳(単位:千円)		決算額 執行率			
事業費	1,000 1,000	901 90.1%			
年間業務時間(人件費の目安)	当初計画 実績 人数 概算時間 <mark>人数 概算時間</mark>				
係長職	1人 30 H 1人 30 H				
主事・主任職	1人 50 H 1人 50 H				
④事業量(活動量) 実施計画	今年度実	2 4 書			
<u> </u>	7 千皮犬	▼·小貝			
○観光のグローバル化に向けた					
〇外国語版ガイドマップの作成(
ア各1万部) ○案内表示のユニバーサル化 <i>0</i>	→ │ ○外国語版ガイドマップの作 ○検討 - │ │ │				
〇外国人向けの観光ガイドの育					
	···				
Charl [歌体]					
Check (評価) 6.事業の評価 S…より適切	なもの A…適切なもの B…課題があり、今後	、改善が必要なもの			
Check (評価) S…より適切 6.事業の評価 S…より適切	なもの A…適切なもの B…課題があり、今後	き、改善が必要なもの 課長評価			
6.事業の評価 S…より適切 項目	<mark>なもの A…適切なもの B…課題があり、今後</mark> 				
6.事業の評価 S…より適切 項目 妥 ω ✓ 上位施策(基本目標・施策 当 要 ✓ 今の社会情勢に見合う事業)を達成する為に必要な事業である				
6.事業の評価 S…より適切 項目 妥 ω ✓ 上位施策(基本目標・施策) 当 要 ✓ 今の社会情勢に見合う事業)を達成する為に必要な事業である				
6.事業の評価 S…より適切 項目 妥 ω ジ 上位施策(基本目標・施策) 当 要性性 その他()を達成する為に必要な事業である まである				
6.事業の評価 S…より適切 項目 妥 ω ジ 上位施策(基本目標・施策) 当 要性性 その他()を達成する為に必要な事業である まである				
6.事業の評価 S…より適切 項目 妥 必 ✓ 上位施策(基本目標・施策) 当 性)を達成する為に必要な事業である まである				
6.事業の評価 S…より適切 項目 妥)を達成する為に必要な事業である まである ② 利用者・対象者のニーズ(需要)がある ・ 務が執行されている ・ 略化・簡素化している	課長評価 A A			
6.事業の評価 S…より適切 項目 妥 ☑ 上位施策(基本目標・施策) 当 性 ☐ その他 (効 手法 ☐ その他 (対 手法 ☐ その他 (対 年本法 ☐ その他 (対 年本法 ☐ その他 (対 年本法 ☐ その他 ()を達成する為に必要な事業である まである	課長評価 A A			
6.事業の評価 S…より適切 項目 妥 ☑ 上位施策(基本目標・施策) 当 ♥ ←の社会情勢に見合う事業 性 □ その他(効 ← 最少の人件費・事業費で事 率 法 □ その他(有 ← □ 計画の事業量に達しなかった 効 果 □ 事業の目標が達成された)を達成する為に必要な事業である まである	課長評価 A A			
6.事業の評価 S…より適切 項目 妥 ☑ 上位施策(基本目標・施策) 当 性性 □ その他(効 質 □ 最少の人件費・事業費で事 率 法 □ その他(有 □ 計画の事業量に達しなかった 効 果 性 □ 施策の基本方針推進するう)を達成する為に必要な事業である まである ✓ 利用者・対象者のニーズ(需要)がある ・ 務が執行されている ✓ 民間活力を活用している ・ 略化・簡素化している ・ 計画の事業量に達した □ 計画以上の事業量を達成 □ 事業の効果が表れている ・ うえで具体的な成果があった	課長評価 A A			
6.事業の評価 S…より適切 項目 妥 ☑ 上位施策(基本目標・施策) 当 性 ☐ その他 (効)を達成する為に必要な事業である まである ✓ 利用者・対象者のニーズ(需要)がある ・	課長評価 A A Lた A			
6.事業の評価 S…より適切 項目 妥 ☑ 上位施策(基本目標・施策) 当 性 ☐ その他 (効)を達成する為に必要な事業である まである ✓ 利用者・対象者のニーズ(需要)がある ・ 務が執行されている ✓ 民間活力を活用している ・ 略化・簡素化している ・ 計画の事業量に達した □ 計画以上の事業量を達成 □ 事業の効果が表れている ・ うえで具体的な成果があった	課長評価 A A Lた A			
6.事業の評価 S…より適切 項目 妥 ☑ 上位施策(基本目標・施策) 当 性 ☐ その他 (効)を達成する為に必要な事業である まである ✓ 利用者・対象者のニーズ(需要)がある ・	課長評価 A A Lた A			
6.事業の評価 S…より適切 項目 妥 ☑ 上位施策(基本目標・施策) 当 性 ☐ その他 (効 要 性 ☐ その他 (効 素務の進め方や手続きを簡性 ☐ その他 (有 成 ☐ 計画の事業量に達しなかった 列 事業の目標が達成された 性 ☐ 施策の基本方針推進するう)を達成する為に必要な事業である まである ✓ 利用者・対象者のニーズ(需要)がある ・	課長評価 A A Lた A			
6.事業の評価 S…より適切項目 妥)を達成する為に必要な事業である まである ✓ 利用者・対象者のニーズ(需要)がある ・	課長評価 A A Lた A			
6.事業の評価 S…より適切項目 妥	Dを達成する為に必要な事業である まである	課長評価 A A Ltt A			
6.事業の評価 S…より適切項目 妥)を達成する為に必要な事業である まである ✓ 利用者・対象者のニーズ(需要)がある ・	課長評価 A A Ltt A			
6.事業の評価 S…より適切 項目 妥 ② 上位施策(基本目標・施策) 当性 ② 今の社会情勢に見合う事業性 ② その他 (効 率性 ② 最少の人件費・事業費で事業の進め方や手続きを簡性 ③ 計画の事業量に達しなかった。事業の目標が達成された。 ③ 計画の事業量に達しなかった。事業の目標が達成された。 ② 事業の基本方針推進するうフ.「施策の基本方針」に対する 観光のグローバル化に向け、案 Action (改善) 8.今後の方向性 ② 現状のまま継続 ② レベル ② は対していまま	Deを達成する為に必要な事業である まである ✓ 利用者・対象者のニーズ(需要)がある 事務が執行されている ✓ 民間活力を活用している 略化・簡素化している 計画以上の事業量を達成 事業の効果が表れている うえで具体的な成果があった 本事業の評価 内表示等のユニバーサル化を進めていく必要がある。 レアップ 縮小 「実施主体の見直し」 体出	課長評価 A A した A ニ・廃止 「完了			
6.事業の評価 S…より適切項目 妥 ② 上位施策(基本目標・施策) 当 性 ② 今の社会情勢に見合う事業性 ② その他 (効 率 世 ② 最少の人件費・事業費で事 率 と ② 表の他 (有 成 果 ② 計画の事業量に達しなかった 事業の目標が達成された ② 事業の基本方針推進するう 7.「施策の基本方針」に対する 観光のグローバル化に向け、案 Action (改善) 8.今後の方向性 ② 現状のまま継続 ② レベル 【改善点】	Dを達成する為に必要な事業である まである	課長評価 A A した A ニ・廃止 「完了			
6.事業の評価 S…より適切 項目 妥	Deを達成する為に必要な事業である まである ✓ 利用者・対象者のニーズ(需要)がある 事務が執行されている ✓ 民間活力を活用している 略化・簡素化している 計画以上の事業量を達成 事業の効果が表れている うえで具体的な成果があった 本事業の評価 内表示等のユニバーサル化を進めていく必要がある。 レアップ 縮小 「実施主体の見直し」 体出	課長評価 A A した A ニ・廃止 「完了			
6.事業の評価 S…より適切 項目 妥	Deを達成する為に必要な事業である まである ✓ 利用者・対象者のニーズ(需要)がある 事務が執行されている ✓ 民間活力を活用している 略化・簡素化している 計画以上の事業量を達成 事業の効果が表れている うえで具体的な成果があった 本事業の評価 内表示等のユニバーサル化を進めていく必要がある。 レアップ 縮小 「実施主体の見直し」 体出	課長評価 A A Lた A 二・廃止 「完了			

平成29年度	ľ±	基本シート】									
1.基本項目	【在	を本クート】			作成	部署		産業	集環境 部		産業振興課
二条件项目		事業名				年度	実施	<u>,连1</u> 期間	事業種別	運営手法	
00 観光スポッ	ト周辺環	環境の整備			不明	年	継	続	自治事務(市独自	その他	0
01						年					
02					ļ	年					
03					ļ	年					
04					ļ	年					
05						年					
関連課						1				1	
T 1 IN		れあいと活力の	あふれ	るまち	施策	区分	21		観光	重点事業No	. 11
2.事業の概要		<u> </u>	- -	~~~	\			18 77	11 a m+ 1 1		
		史、文化など <i>0</i> みを進め、地 ^は							村の魅力や	で価値を巾P	り外へ発信
		生を向上させ、 案内標識の設								するため、	見光スポット
根拠法令	多摩島	島しょ地域観光	光施 設整	と備等:	補助導	業					
条例											
要綱等											
3.実施計画											
Plan【計[ĦΪ	平成28年度	更短,)					か年計画		
Папки	= /					.29年/			7成30年度		戊31年度
		市内を周遊するたレンタサイクルのま		用レ		するため (クルの)		同左(延	≦べ50人)	同左(延べ	60人)
事業内容	_			観光討		識の設調	置の検	同左 ※事業 業費を9	を検討する中で 算出		票識の設置
尹未里=	न				έスポット トイレの	・周辺の 検討	駐車	同左 ※事業 業費を領	を検討する中で 算出		小周辺の駐車 D整備
)達成、及び活							_	- 88 *** 36 n+ 8	8 1
		人件費の目安) 平成28				<u>る人多</u> 成29年		、当たりの年 平成30年	- 間業務時間 - 市	引 <u>】</u> ·成31年度
職	層∙職績	種別	人数	概算	時間	人数	概算	時間		時間人数	
係長職			1人		20 H	1人		30 H	1人	30 H 1 人	30 H
主事・主任暗	t.		11人		Н	11人		10 H	11人	30 H 1 λ	60 H

①年間業務時間(人件質の日安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】								
職層∙職種別	平成28年度(現況)		平	成29年度	平月	成30年度	平成31年度	
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	20 H	1人	30 H	1人	30 H	1人	30 H
主事・主任職	1人	Н	1人	10 H	1人	30 H	1人	60 H
②事業費								

事	業費の内訳(単位:千円)	平成28年度(現況)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
	事業費	190			_
	人件費(係長職)	100	150	150	150
	人件費(主任・主事職)		34	102	204
総	事業費(合計)	290	184	252	354
	国庫支出金				
	都支出金				
	受益者負担額				
	その他特定財源				
	一般会計繰入金				
	起債				
	一般財源(人件費含む)	290	184	252	354
財	源内訳(合計)	290	184	252	354

財源内訳(合計) 56,079 人における1人あたりのコストは、 ア 市民 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 の出来高 ウ 成果(物)

3	円
	円
のコストは	
のコストは	

平成29年度 【事務事業評価	「(事後)】	管理No 123					
Do【実行】 5.実施結果							
□ 計画どおり完了 □計	画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) [□ 遅延 □ 中断					
①指示事項・改善	指示事項・改善内容						
	34						
②活動実績	「山」ともほしょ。知火安内博塾の記案につい	ては、ちがた記墨根式の校					
	し出しを支援した。観光案内標識の設置についる補助金の獲得に向けた情報収集を行った。 試し、整備を行った。						
③投入実績	むし、正 備で 1 りた。						
決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初) 補正·流用額 予算額(最終)						
事業費		0 -					
年間業務時間(人件費の目安)							
係長職	1人 30 H 1人 30 H						
主事·主任職 ④事業量(活動量)	1 人 10 H 1 人 10 H						
実施計画		·年度実績					
〇市内を周遊するための観光用		めの観光用レンタサイクルの					
の支援 延べ40人	⇒ 支援 延べ45人	よ と と と と と と と と と と と と と と と と と と と					
○観光案内標識の設置の検討 ○観光スポット周辺の駐車場、ト	○観光案内標識の設 -イレの検討 ○観光スポット周辺の	(直の快討)駐車場、トイレの検討					
Check(評価) 6.事業の評価 S…より適切]なもの A…適切なもの B…課題があり	リ、今後、改善が必要なもの					
項目		課長評価					
)を達成する為に必要な事業である 美である 利用者・対象者のニーズ(需要)がある	^					
当 要	长(的句 □ 利用有 列象有的二一人(而安///)的句) A					
効 ← □ 最少の人件費・事業費で事	耳務が執行されている ✓ 民間活力を活用し	ている					
率 法 🗸 業務の進め方や手続きを簡	略化・簡素化している						
性 〜 □ その他 (_)					
有 ○		量を達成した					
効果 💆 事業の目標が達成された	事業の効果が表れている						
性 ~ 施策の基本方針推進するう							
7.「施策の基本方針」に対するオレンタサイクル、観光スポット問		業であり、今後も継続して展					
開していく。	レンタサイクル、観光スポット周辺の駐車場整備など一定の成果が得られた事業であり、今後も継続して展 開していく。						
Action【改善】 8.今後の方向性							
☑ 現状のまま継続 ☑ レベル	レアップ 縮小 実施主体の見直し [休止・廃止 完了					
【改善点】 サイクリングステーションの整備	とあわせて、事業を展開していく。						
また、観光案内標識の設置につ	いても、具体化していく必要がある。						
【今後の取組方針】	かこの亜朝ナなり 南夕麻郷学のいの思古4.4	00_1/= 辺罢し+_					
	休憩所の場所については、市民からの要望もあり、奥多摩街道沿いの羽中4-483-1に設置した。近隣市では、青梅市が民間運営であるが、サイクルハーバーを設置している。						